

令和2年度中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会における
教科用図書の選定結果について

令和3年度から使用する中学校教科用図書について、中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会において協議を行った結果、次のとおり選定いたしました。

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会
会長 長瀬 哲

1 選定日 令和2年7月31日

2 選定した教科用図書および選定理由

教科		発行者の 番号 略称		教科書名
国語	国語	38	光村	国語
	書写	38	光村	中学書写
社会	地理	2	東書	新しい社会 地理
	歴史	2	東書	新しい社会 歴史
	公民	2	東書	新しい社会 公民
	地図	46	帝国	中学校社会科地図
数学		61	啓林館	未来へひろがる数学
理科		2	東書	新しい科学
音楽		27	教芸	中学生の音楽
器楽		27	教芸	中学生の器楽
美術		116	日文	美術
保健体育		224	学研	中学保健体育
技術		2	東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
家庭		6	教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
英語		9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
道徳		38	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

【選定理由】

いずれの教科においても、すべての教科書が文部科学省の検定を経たものであり、新学習指導要領にもとづいて編纂され、学習内容および学習活動への配慮が適切になされていた。

その中で、調査研究委員会においては各社の教科書を比較研究し、総合的に優れている点、よく工夫されている点などの特徴について詳細の報告を受けた。その報告も踏まえ、協議会として協議を行い、出席委員の総意により選定結果に至った。各教科の選定理由概要は以下のとおり。

教科（種目）	発行者名	教科書名
国語 (国語)	光村図書	国語

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、国語の力を育成するために、情報の扱い方を学び、適切に読み解く学習への工夫がなされ、対話を通して思考力や想像力を養えるよう配慮されている。また、身近な言語文化に関わる題材を多く扱い、言語感覚を豊かにし、日常生活の中で生かせるよう適切に配慮されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、教材が生徒の発達段階に応じて段階的かつ系統的に、はじめは身近な題材から徐々に生き方や広く社会に関わる題材へ、生徒の言語環境にも配慮しつつ各領域バランス良く配置され、学習意欲が喚起されるよう工夫されている。また、生徒にとって身近で、知的好奇心を喚起したりするような問い合わせを基にした言語活動の設定により、主体的・対話的な学習が促されるようになっている。

巻頭の「学習の見通しをもとこう」巻末の「学習を振り返ろう」では、学習の見通し・ポイント・学んだ力を確認でき、各单元中の「学習の窓」の具体的な提示を手がかりに教師と生徒が見通しをもちながら学びを深めることができる。情報整理の仕方や考え方などが例示や図解でわかりやすく解説され、視覚的な資料を用いて学習することができる。また、生徒の思考力、判断力、表現力等の力を、実践を通して高められる工夫が多くみられ、単元の終わりの、自分の言葉で表現する学習を通じて、言葉による見方・考え方を働かせて文章を理解し、根拠や効果を考えながら適切に表現する力につけることができる。

全体的に、適切な教材配置によるバランスの良さと、学習の流れをつかみ、見通しを持って学習に取組める工夫が非常に優れている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
国語 (書写)	光村図書	中学書写

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、学習のポイントがわかる「学習の窓」を設けるなど、基礎・基本、原則・原理を明確に示すことで、文字の書き方だけでなく知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されているとともに、身の回りの文字文化に触れられる資料が取り上げられていて、書写学習で身に付けた力を生活で活用できるよう配慮されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、生徒の発達段階に即した書体が題材として示され、優れた言葉・文章に触れられる。手紙やはがき、原稿用紙等の書式や、学校生活や日常生活に役立つ活用例が豊富に掲載され、生徒が興味・関心をもちながら学習できる。

「考えよう」をきっかけとする教材が多く設定され、それを基に「確かめよう」で技術を習得し、「生かそう」では硬筆等実生活に生かすことができるよう工夫されている。特に、硬筆練習帳「書写ブック」を新設し、毛筆での学習を硬筆へとスムーズに生かせる点が評価できる。

また、Webコンテンツから繰り返し視聴できる動画教材や写真によって、視覚的に理解が深まるよう工夫されている。

全体的に、主たる学習要素は大きく丁寧に、その他は小さく簡潔に示すメリハリのある紙面構成により、学習のねらいや流れが明確でつかみやすく配慮され、興味を持って学び、実生活にいかせるような内容となっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
社会 (地理的分野)	東京書籍	新しい社会 地理

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて公正に判断する力や思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができる構成になっている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』、学習を進める『展開部』、学習をまとめる『終結部』」に整理され、学習の流れが捉えやすく、主体的で対話的な学習ができるよう工夫されている。紙面構成としては、資料が大きく豊富に掲載され、写真や文字が鮮明で、シンプルで見やすく、学習意欲が高まり授業への興味・関心を引き出すことが期待できる。また、思考の整理に適した「ベン図」「クラゲチャート」「フィッシュボーン」といった多彩な思考ツールが提示されており、テーマに沿って主体的に思考・判断した内容を書き込むこともできるので、表現の力も養うこ

とができる。

導入部分には生徒が学習する地域のイメージがもちやすく探究活動につながるような発問があり、地理的な見方・考え方を働かせて学びを深められるよう「見方・考え方」マークが設けられている。単元を通した「探究課題」と一時間の授業ごとに、精選された資料や学び方の視点、思考ツールが適切に位置づけられており、深い学び・指導の充実につながる工夫が見られる。

全体的に、地理的思考方法による課題解決的な深い学びが実現できるよう工夫され、随所に「持続可能な開発目標（SDGs）」や「ICT」、「防災・安全」、「人権・平和」といった現代的なテーマを配し、バランス感覚にも優れている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
社会 (歴史的分野)	東京書籍	新しい社会歴史

選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、課題解決的な学習の流れと見方・考え方を活用して取り組む活動で、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫が見られるとともに、現代的な諸課題に興味をもち、社会生活に主体的に参画する態度を養えるよう配慮されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、各単元の導入部分で小学校の学習内容や用語を振り返る活動を設けて、中学校の学習につながる配慮がなされ、各単元は「探究課題」「学習課題」「探究のステップ」の3段階の問い合わせ構成され、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。紙面は見開き2ページで1つの内容構成になっており、1時間を基本に学習が可能で、ページ下部の年表的表示や「チェック」「トライ」で、生徒の理解と歴史への興味を引き出すことにつながっている。

「見方・考え方」マークを付けて視点と方法を示したり、各単元の最後の「まとめの活動」で様々な思考ツールを使うなど、社会的な見方・考え方を働かせて考察やまとめができるよう配慮されている。「もっと歴史」のページでは防災やSDGs、人権などのテーマを取り上げており、島崎藤村と「破戒」のコラムは当地域にとって大切な視点であり、現代的な諸課題につながり、学びを深めることができる。

全体として、問い合わせを軸とした単元構成で、社会的な見方・考え方を働かせて、主体的に課題解決的な学習ができるようになっている。また絵巻物をカラーで掲載したり、実際の資料を実物大で掲載するなど、視覚的に歴史に興味をもたせるとともに、小中の系統性、地理・公民や他教科との関連性が考慮された構成により、学びの深まりが期待できる優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
社会 (公民的分野)	東京書籍	新しい社会 公民

選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、現代社会が抱える課題について考察し、多面的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力が養われるとともに、持続可能な社会の実現に向けてできることを考えることで、社会に参画する力を育成できるよう配慮されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、見開き2ページで授業1時間を原則とし、社会的事象の因果関係を捉えやすくする平易で具体的な記述を用い、資料を大きく掲載することで視覚的に捉えやすくなる。単元のまとまりを重視した構成となっており、導入では「単元全体を貫く探究課題」を設定し、単元の終末では導入活動とリンクしたまとめ活動ができる。

「見方・考え方」の発問をページ上部に設けるとともに、学習の過程の各所に「見方・考え方」マークを設け、具体的・現代的な思考が深められるよう配慮されている。見開きページ下部の「チェック」では基本を確認し、「トライ」では、要約や説明など言語活動を充実させるよう配慮されている。環境・エネルギー、人権・平和、防災・安全など5つのテーマを設け、具体的な事象から、現代社会が抱える課題を理解し、解決しようとする態度を育てようとしている。

全体として、課題解決的な単元構成により、社会的な見方・考え方をもとに、今日的な課題の解決に向け学習でき、対話的な学習場面を豊富に取り入れることで、他者と協働し、よりよい社会を築こうとする意識と態度が養えるなど、非常に優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
地図	帝国書院	中学校社会科地図

選定した理由

2社の地図帳を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、地図だけでなく鳥瞰図や写真、デジタルコンテンツ等を組み合わせて、地域的特色や現代的課題に興味・関心をもてる構成となっており、主体的な調査・発表につながる。様々な統計資料の活用力を養い、我が国の国土や世界の地理的環境について様々な視点でとらえる工夫がなされている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、日本の地方図は、重要な地名・産物・歴史事項について表記するとともに、地名の種類ごとに判別しやすい表記がなされ、地域的特色

が読み取りやすいように工夫されている。他社よりも大きいA4判サイズをいかして、最新データを反映した主題図や人々の生活の様子を示す写真を掲載したり、見開き2ページの中に関連する地図や資料、色の凡例等を配置して、地域的特色を理解できるよう配慮されている。

世界の抱える諸課題やオリンピック・パラリンピックについての資料、日本の自然災害の要因や防災対策について掲載し、最新の社会的事象や課題を広い視野からとらえられる。

全体として、鳥観図や多様な主題地図、資料を多数掲載することで、比較や関連付けができる、データの活用方法や地域的特色を学べるよう構成されている。多彩な地図や鳥観図・イラスト・写真などを用いて、多様な学習に地図帳を活用することが期待できる。UDに対応し、デジタルコンテンツとの連携も工夫され非常に優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
数学	啓林館	未来へひろがる数学

選定した理由

7社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、数学を主体的に学び、基礎的・基本的な知識及び技能を習得でき数学的な見方・考え方につれ、数学的思考能力を働かせる場面設定が工夫されている。また、数学を積極的に活用しようとする態度や問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとする資質を育てるよう配慮されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感しながら、主体的に学習に取り組めるよう題材や表現の仕方など配慮されており、紙面を判別しやすい配色やUDフォント使用、意味改行などを行って、内容を理解しやすいよう工夫されている。丁寧な発問と順を追った説明が「ひろげよう」で発展・整理され、見通しを持った学習ができる構成になっている。

具体的な「例」を豊富に配し、学びやすくするとともに、生徒の思考を意識して具体から抽象へ、基礎から発展へといったステップで学習が進められる。その学習で使った数学的な見方・考え方を「虫眼鏡」として示し、授業の中でふれた数学的な見方・考え方を改めて振り返るとともに、繰り返し確認できるよう配慮されている。統計ツールの活用や、紙面では表現できない動きをWeb動画で準備するなど、指導に生かせる工夫も効果的である。

全体として、生徒が興味・関心を深めて数学を学ぶ楽しさや意義を実感しながら自分の学びを広げていけるよう工夫され、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、主体的に学習する態度を養うことができる非常に優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
理科	東京書籍	新しい科学

選定した理由

5社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、生徒の興味・関心を喚起できるよう美しい写真やイラストを導入に配置し、生徒の実態に応じた知識・技能の定着と活用を促し、主体的に探究する力が育まれるよう工夫されている。また、単元の終末で導入時の問い合わせを振り返ることができるようにして、自己の思考の変容や成長を実感できる構成になっている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、小学校の既習事項や他教科と関連する項目を下線で強調したり、全ての章でページ下部に問題発見から活用までの探究の流れを明確に示したりし、生徒にとり主体的な探究活動が進められるよう細かに配慮されている。考察する場面において、対話例を示したり、注釈を効果的に設けて、生徒のつまずきへの支援とともに、対話的な活動を促すよう配慮されている。観察、実験は、見開きの2ページ以内にまとめ、操作手順を縦一列に配列することによって手順が確認しやすく、注意事項や安全に着目しやすいカラーリングとマークで示されている。見開きの授業時数が1時間になる構成で、学習のステップの確認しながら進めることができる。

全体として、文章は短文になっており、明快で簡潔な表現を使用し、読みにくい漢字にはルビをふるなどの配慮がなされている。A4スリム版のタブレット端末を意識した大きさで、教科書本体の軽量化にもつながっている。イラストや丁寧な説明、対話例を多用し、主体的に理科的思考を学習する態度につながる非常に優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
音楽 (一般)	教育芸術社	中学生の音楽

選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、音楽が生活や文化とどのように関わり、どのような意味や価値があるのかを生徒が考え、音楽に対する感性が豊かになるよう工夫され、表現・鑑賞・歌唱・創作などの音楽教育の要素が適切に配置され、各題材で主となる要素が示され、その視点から音楽の見方・考え方を働きながら学習を深められるよう、よく配慮されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、学年の発達段階に応じた学習内容が配置され、「学びの地図」を通して各単元で身に着けたい力や年間の学習内容の見通しを持てるような構成になっており、情景や作品のイメージが湧くような写真や資料が他社に比べ豊富

にかつ大きく掲載され、楽曲のテーマが色付きで示されることで、生徒が作品をより具体的で深く理解できるよう配慮されている。また、楽曲から知覚・感受したことや学習内容を教科書に書き込むことができ、学習の振り返りができるよう工夫されている。楽譜の表示方法がシンプルでわかりやすく、創作につながる学習は生徒の発達段階に応じて、ステップアップする内容となっている点など、指導に生かすことができる。

全体として、表紙や「My Voice！」のページのイラストが生徒にとって親しみやすく、自分たちの生活と音楽のつながりを感じ、生活や社会の中での音楽の役割についてのページや、我が国や郷土の伝統音楽についてのページが充実しており、音楽文化を楽しみながら身につけられる優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽

選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、中学生の器楽として目指す、様々な楽器とアンサンブルをしたり、楽器を使って創作したりすることが、教科書全体を通じて適切にアプローチされている。表現・鑑賞・創作・器楽合奏などの音楽教育の要素が適切に配置され、音楽の要素を言語化して示し、音楽に関する興味・関心を高められるよう工夫されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、Lesson 1～4まで単元が設定され、見通しをもって段階的に学習が進められるよう工夫され、一つの課題に対して段階別に難易度に幅をもたせて楽曲を配列することで、個人の成長段階に合わせた進度で学習に取り組むことができるよう工夫されている。基礎から徐々に教材の難易度をあげる配列により、系統的な学習ができ、伝統的な楽器を使って日本古曲から最近の人気の曲まで扱えるなどの工夫がなされている。学習問題や「演奏のポイント」「練習のポイント」が表記され、生徒が自己評価しながら主体的に学習を進められる構成になっている。

全体として、学習目標と音楽の要素が整理される構成が、曲の理解を促し、演奏写真が奏者全体と演奏部分の拡大で掲載されるとともに、楽器の解説や演奏者の言葉にふれることで、演奏の技能だけでなく、楽器のもつ特徴や良さを感じとることができ、器楽学習そして演奏する楽しさにつなげられるものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
美術	日本文教出版	美術

選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、多くの作品や写真、作者の言葉から見方や感じ方を広げ、造形活動ができるよう配慮され、学びに関連した作家などの言葉にふれ、生活や社会の中で美術を生かし創造できる構成になっている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、各学年で扱う内容が1冊ずつに示されており、3冊を通して系統立てられた各学年ならではの題材構成で、他社が2冊構成なのに比べ2年時と3年時の違いがより意識できるよう配慮されている。各題材のページごと、図版から気づいて欲しい点を「造形的な視点」として問い合わせ、生徒の思考が深められ主体的な学びの入口になっており、協働して造形活動を行う様子も紹介され、対話を通して思考力を働かせ、学びを深められるように工夫されている。実物の大きさや色彩にこだわった図版が多く、また、実物がWebコンテンツで見られるなど、表現の手助けとなるよう配慮されている。

全体として、長野県内を題材にした東山魁夷作品が表紙になっていたり、葛飾北斎の富岳三十六景など、身近に感じられる題材が、美しい大判の図版で用いられている点は特に優れている。また、生徒作品や美術作品のニュアンス、材質感、色彩などの忠実な再現が図られており、生徒が興味関心をもって鑑賞や制作に取り組むことを通じ、中学生が美術を学ぶ意味を実感できる。

教科（種目）	発行者名	教科書名
保健体育	学研教育みらい	中学保健体育

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、学習内容が「課題をつかむ→考える・調べる→まとめる・深める」という流れで構成され、課題解決的な学習を促し、その時間で習得した知識をより深めて活用することができるよう工夫されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、全ての「課題をつかむ」にイラストや写真が入っており、生徒が自らの生活や運動を想起しやすいよう工夫されている。保健体育に関する専門家からのメッセージや関連する職業を掲載し、キャリア教育との関連から学べるようになっている。学習内容をキーワードでまとめ、体育理論・保健・体育実技・各教科を関連させて指導でき、運動やスポーツ、健康・安全について、様々な人や場面を取り上げ、実際の当事者の声や現代的な課題を多く取り上げ、多様性や共生の視点から学び、SDGsについても、保健体育の視点との関連を考えられるよう工夫されている。

「探求しようよ」「振り返ろう」のコーナーを設け、テーマを掘り下げたり、知識の定着の確認ができたりするように、工夫されている。

全体として、大きな写真やイラスト、章末・巻末資料の充実により、生徒が自らの生活と関連付けて保健体育を主体的に学び、社会生活に生かせるよう工夫され、現代的課題と具体例を多用し、キャリア教育の視点から全体で52職種との結びつけがされるなど、優れ

た構成の教科書となっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、技術科における原理・法則や基礎的な仕組みを裏付ける図などを掲載し、科学的な思考に基づく知識が取得できるよう配慮され、活動においては統一された問題解決の流れを示し、自分自身の見通しがもてるよう配慮されている。また、自分の問題解決の過程を振り返り、取り組んだ内容や新たな問題解決に向けての課題などを確認できるよう

工夫されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、学習内容が「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3要素に沿って系統的に配列され、各編の題材の構成が「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう配慮されている。

環境に関連する内容には「環境」マークを付し、環境の保全や省エネルギーなどに対応していく態度が身に付くよう配慮され、活動や問題解決例を多く掲載し、主体的に調べ、協働して比較・検討したりするための発問などを設け、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう配慮されている。

全体として、技術を学ぶよさを感じられるよう、「問題解決カード」をもとに、生徒が主体的に問題解決でき、「技術の匠」では、製作者、生産者、開発者、企画者などの思いや願いを感じとり、技術の良さに触れられるよう工夫されている。技術科は、小規模校においては専門外の教師が指導する場合もあり、経験の浅い教師でも提示された流れに沿って指導することで、生徒の主体的・探究的・実践的な学習につなげることができる優れたものになっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
技術・家庭 (家庭分野)	教育図書	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する

選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、家庭科で身につけるべき生活に必要な基礎的知識や技能を

「やってみよう」の実践的・体験的な活動を通して身につけられるよう配慮され、さらに「学びを生かそう」で繰り返し問題解決的学習を行い、生活の課題を解決していく力を伸ばすことができるよう構成されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、練習題材の実習やロールプレイング、疑似体験などを組み合わせ、生徒の発達段階や実態を踏まえた題材が配列され、各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、興味・関心をもてる折り込み頁、見やすい図表やイラスト、精選された文章から、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう工夫されている。

各題材の「見つめる」で生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、「学びを生かそう」で生徒が課題を選択して主体的・対話的に取り組める題材の取扱いがされている。「自立度チェック」「考えてみよう」では、個別や集団で課題を追究し、家庭と連携して学習を生活に生かせるよう工夫され、さし絵・写真・図表等の内容も、身近な生活の課題解決や現代社会の課題の想起に活用できるよう配慮されている。

全体として、多様な背景を持った生徒がともに学ぶ家庭科の授業において、UDフォントやデジタルコンテンツの導入、資料の精選により、アクセシビリティを高めた教科書であり、「学びを生かそう」などで学習過程を意識した実践を繰り返すとともに「考えてみよう」などのワークが多数掲載され、課題解決的で主体的・対話的な深い学びの実現に向け工夫されている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
英語	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE

選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、英語の4技能5領域（読む・書く・聞く・話す《やりとり・発表》）を学ぶために、新出表現の理解や技能を身に付けることを促すように言語活動が配置され、技能を活用しやすい構成になっている。学んだ内容を整理して自分の考えや気持ちを発信する活動や、主体的にコミュニケーションを図る態度の育成に向けて、文化を学び、相手を意識して発信する言語活動が工夫されている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、小学校での学びを接続する単元で扱う言語材料が精査され、負担を感じないよう工夫されている。また1学年から3学年へ日常的な話題から社会的な話題まで扱うように構成されており、小学校での学びを接続することができる単元配列となっている。加えて新出表現が漫画で示され、言語の働きや使用場面を視覚的に推測・理解できるよう特に配慮されている。また、音読の意識を高める工夫や、既習要素を使って自己表現する言語活動、本文の内容を要約して相手に伝える活動など、5領域を関連付け、技能を高めるための仕掛けが充実している。

各巻冒頭に全体の大きな構成が見開きで示され、単元ごとの学習と特設単元「Our Project」

を効果的に配列し、生徒は流れをつかむことができ、教師は総合的に各領域の指導ができるよう配慮されている。単元ごとに、Scenes Think Retell Interactを繰り返し、単元の終末ではその単元で学習した表現を活用して発信する力を育成するよう特に工夫されている。聞いたり話したり書いたりする活動で表現が定着するよう工夫され、読み取った内容を要約し相手にわかりやすく伝える力、即興的に話す力についての活動も設定されている。

特設単元は、各単元で身につけた表現が活用できる構成となっており、生徒の興味にあったテーマが設定され、モデル文の提示やメモなどを活用したり、友だちとやり取りしたりすることを通して、育成してきた力を活用して発表をする言語活動が配置されるよう大変工夫されている。

全体として、新出表現の漫画提示が効果的で、実生活の中で使う表現に多く触れることができ、単元内容が具体的に示されている。特設単元で自分の考えを表現するための技能を段階的に身につけていく活動ができ、学年が上がるにつれて、身近な場面から社会的な場面に移行しながら、即興的に英語を用いて自分の考えや気持ちを発信する活動が盛り込まれており、優れた内容になっている。

教科（種目）	発行者名	教科書名
道徳	光村図書	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

選定した理由

7社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、生徒自身が目指そうとする姿を設定し、自己を見つめながらそれを具現化していくよう端的な発問が工夫され、教材末には「考えよう」を設定して、生徒が友と話し合う中で多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。毎回の授業の記録を積み重ねて、生徒が自分の生き方への考えの深まりに気付くことができる構成になっている。

生徒の学習活動や学習指導への配慮では、生徒の成長や問題意識に寄り添った学びになるように、年間で3つの「シーズン」に分け、目次で示し、系統的でわかりやすい教材配列になっている。漫画やグラフ、ポスター、新聞記事など多彩な題材から、個々の考えを引き出す工夫、「深めたいむ」では自分に引き寄せて主体的・対話的に考えさせる工夫、役割演技を取り入れた活動から道徳的行為を多面的・多角的にとらえて話し合える工夫など、大変よく配慮されている。

中学校生活を意識したテーマについて重点化し、コラムを設けながら学年ごとの実態や発達段階に合わせた教材配列が工夫され、特に情報モラルについて、3年間を通して継続的に向き合い、現実的な場面設定や情報機器の良さにも目を向けながら、実態に応じて柔軟に指導できるよう配慮されている。同じ題材を扱った単元（3年「二通の手紙」）で各社比較すると、1時間の授業での取上げ方や発問に違いが見られ、最も適切で一人ひとり

の考えを深められるものであった。

全体として、「人権教育」「いじめ問題」「情報モラル」「命の尊さ」のテーマに3年間通して向き合い、その道徳的価値の多様性の理解を深めることができる教材になっており、生徒自身が目標とする姿をイメージしながら、対話的思考と自由な発想を通して、主体的に考えられる端的な発問が特徴的で優れている。

3 会議録

別紙のとおり